

平成27年7月6日
内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
自動車検査用機械器具の保守管理業務（北陸信越・中部検査部管内）の評価（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）第7条第8項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

自動車検査（独）が実施する「自動車検査用機械機器の保守管理業務（北陸信越・中部検査部管内）」については、公共サービス改革基本方針（平成26年7月11日閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて自動車検査（独）は、官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「自動車検査独立行政法人自動車検査用機械機器の保守管理業務（北陸信越検査部管内）に関する民間競争入札実施要項」及び「自動車検査独立行政法人自動車検査用機械機器の保守管理業務（中部検査部管内）に関する民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。なお、北陸信越検査部管内分については2回入札を行ったが入札不落のため、北陸検査部において各事務所毎に個別に入札実施。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
事業内容	<p>【中部検査部管内】</p> <p>自動車検査独立法人法第14条の規定に基づき中部検査部管内12事務所に設置される自動車検査用機械器具の維持及び管理を行う。</p> <p>【北陸信越検査部管内】</p> <p>自動車検査独立法人法第14条の規定に基づき北陸信越検査部管内6事務所に設置される自動車検査用機械器具の維持及び管理を行う。</p>
契約期間	<p>【中部検査部管内】</p> <p>平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間</p> <p>【北陸信越検査部管内】</p> <p>2回入札を行ったが入札不落のため、北陸信越検査部において各事務所毎に個別に入札実施</p>

<p>受託事業者</p> <p>株式会社オルタライフ</p> <p>【北陸信越検査部管内】</p> <p>入札不落により市場化テスト未実施</p> <p>契約金額</p> <p>【中部検査部管内】</p> <p>47,080千円（税抜）</p> <p>【北陸信越検査部管内】</p> <p>入札不落により市場化テスト未実施</p>	<p>【中部検査部管内】</p> <p>株式会社オルタライフ</p> <p>【北陸信越検査部管内】</p> <p>入札不落により市場化テスト未実施</p>								
<p>実施にあたり確保されるべきサービスの質及び確保すべき水準</p>	<p>【中部検査部管内】</p> <p>① 検査機器定期点検 定期点検実施に伴う閉鎖時間が半期で183時間30分を上回らないこと。</p> <p>② 検査機器校正 校正時間に伴う閉鎖時間が年間169時間51分を上回らないこと。</p> <p>③ 重量計定期検査 定期検査に伴う閉鎖時間が26年度にあつては年間0分、27年度にあつては年間2時間45分を上回らないこと（注：重量計の定期検査2年に1度であり、各年における検査基数が異なるため、測定する指標が異なる）。</p> <p>④ 業務内容の達成状況</p> <table border="1" data-bbox="504 1122 1449 1827"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 1122 762 1167">業務内容</th> <th data-bbox="762 1122 1449 1167">確認事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 1167 762 1346">検査機器定期点検</td> <td data-bbox="762 1167 1449 1346"> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての対象機器について必要な点検が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1346 762 1563">検査機器校正</td> <td data-bbox="762 1346 1449 1563"> <ul style="list-style-type: none"> ・登録校正実施機関による校正を受けているか。 ・全ての点検対象機器について前回の校正の日から概ね1年以内に校正が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1563 762 1827">重量計定期検査</td> <td data-bbox="762 1563 1449 1827"> <ul style="list-style-type: none"> ・指定定期検査機関等による定期検査を受けているか。 ・全ての点検対象機器について前回の定期検査の日から2年以内に定期検査が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>【北陸信越検査部管内】</p> <p>入札不落により市場化テスト未実施</p>	業務内容	確認事項	検査機器定期点検	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての対象機器について必要な点検が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 	検査機器校正	<ul style="list-style-type: none"> ・登録校正実施機関による校正を受けているか。 ・全ての点検対象機器について前回の校正の日から概ね1年以内に校正が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 	重量計定期検査	<ul style="list-style-type: none"> ・指定定期検査機関等による定期検査を受けているか。 ・全ての点検対象機器について前回の定期検査の日から2年以内に定期検査が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。
業務内容	確認事項								
検査機器定期点検	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての対象機器について必要な点検が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 								
検査機器校正	<ul style="list-style-type: none"> ・登録校正実施機関による校正を受けているか。 ・全ての点検対象機器について前回の校正の日から概ね1年以内に校正が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 								
重量計定期検査	<ul style="list-style-type: none"> ・指定定期検査機関等による定期検査を受けているか。 ・全ての点検対象機器について前回の定期検査の日から2年以内に定期検査が実施されているか。 ・検査コース閉鎖時間が報告されているか。 ・実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。 								

2 受託事業者決定の経緯

【中部検査部管内】

入札参加者は2者であり、提出された企画書について審査した結果、いずれも入札資格を満たしてため、総合評価落札方式による評価点が最も高い上記事業者が落札者となった。

【北陸信越検査部管内】

平成25年12月25日に入札公告をし、入札参加者は2者であったが、いずれも予定価格を上回っていたため、不落となった。その後、平成26年4月17日に再度入札公告をし、入札参加者は1者であったが予定価格を上回ったため、不落となった。入札参加者に入札価格の聞き取り調査をした結果、北陸信越エリアに営業所がない等により予定価格との乖離があるとのことだったため、北陸信越検査部において各事務所毎に個別に入札を実施することとなった。

II 評価

1 評価方法について

自動車検査（独）から提出された平成26年4月から平成27年3月までの実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

(1) 対象公共サービスの質の確保について

【中部検査部管内】

① 検査機器定期点検

定期点検実施に伴う閉鎖時間は以下のとおりであり、半期毎で183時間30分を上回っていないため、目標は達成できていると評価できる。

	平成26年度
上半期閉鎖時間	142時間30分
下半期閉鎖時間	143時間45分

② 検査機器校正

検査機器校正に伴う閉鎖時間は以下のとおりであり、年間毎で169時間51分を上回っていないため、目標は達成できていると評価できる。

	平成26年度
年間閉鎖時間	127時間25分

③ 重量計定期検査

定期検査に伴う閉鎖時間は以下のとおりであり、26年度にあつては年間0分を上回っていないため、目標は達成できていると評価できる（26年度実施なし）。

	平成26年度
年間閉鎖時間	0分

④ 業務内容の達成状況

検査機器定期点検、検査機器校正、重量計定期検査とも、業務報告書の内容、業務監督責任者からの所見等から、确实かつ適切に実施されたものと評価できる。

【北陸信越検査部管内】

入札不落により市場化テスト未実施

(2) 民間事業者からの改善提案による実施事項

民間事業者からの改善提案により、重量計定期検査の実施について検査時間外(昼休み等)に実施することにより可能な限り検査コースの閉鎖時間を少なくすることができたことは評価できる。

3 実施経費についての評価

重量計の定期検査が2年に1度であり、重量計の定期検査が多い奇数年度(9基)と少ない偶数年度(4基)あるため、市場化テスト実施前の偶数年度の平成24年度(4基)の実施経費25,018千円(税抜)と平成26年度の23,217千円(税抜)と比べ1,801千円(7.2%)が削減されている。

(単位：千円)

従来の実施経費 ① (平成24年度)	平成26年度 ②	平成27年度 ③	従来経費との差額 (②-①)
25,018	47,080		
	23,217	23,863	▲1,801 (▲7.2%)

(注) 重量計の定期検査は2年に1度であり、検査基数が基数年度(9基)、偶数年度(4基)であるため、同じ偶数年度で比較。

【北陸信越検査部管内】

入札不落により市場化テスト未実施

4 評価のまとめ

中部検査部内の本事業においては、確保されるべき公共サービスの質の目標はいずれも達成され、特に、重量計定期検査の実施について検査時間外(昼休み等)に実施することにより可能な限り検査コースの閉鎖時間を少なくすることができたことは高く評価できる。

さらに、実施経費についても、1,801千円(7.2%)の経費が削減されており、効率的に事業が実施されたものと評価できる。

なお、北陸信越検査部内については、2回の入札を行ったが2回とも予定価格を下回らなかったため、入札不落となっており、入札参加者に聞き取り調査を行ったところ、北陸信越エリアに営業所がない等のため、予定価格の範囲内での受託はできないとのことだったため、今後、新規参入者を促すための検討が必要と考える。

5 今後の方針

本事業の市場化テストは今期が1回目であり、中部検査部管内においては、良好な実施状況であることが認められるが、外部有識者等によるチェックを受ける仕組みの整備が未定であることから、引き続き次期事業においても民間競争入札を実施することが適当であると考えられる。なお、次期事業の実施にあたっては、早期に外部有識者等によるチェック体制の整備を行うことが望まれる。

なお、北陸信越検査部管内の次期事業については、再度、入札範囲の再検討及び入札参加者の新規参入を促すための情報提供の強化等を行い、改めて民間競争入札を実施することが適当であると考えられる。

平成 27 年 6 月 16 日

自動車検査独立行政法人

民間競争入札実施事業

自動車検査独立行政法人自動車検査用機械器具の保守管理業務の実施状況について
(平成 26 年度)

I. 事業の概要

1. 委託業務内容

自動車検査独立行政法人法第 14 条の規定に基づき中部検査部管内 12 事務所及び北陸信越検査部管内 6 事務所に設置される自動車検査用機械器具維持及び管理

2. 業務委託期間

平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

3. 受託事業者

中部検査部 株式会社 オルタライフ

北陸信越検査部 入札不落により市場化テスト未実施

4. 契約金額

中部検査部 47,080 千円 (税抜)

北陸信越検査部 入札不落により市場化テスト未実施

II. 業務の実施に当たり確保されるべき質の達成状況及び評価

<中部検査部>

各業務	測定指標	評価		
		期間		適・不適
検査機器定期点検	定期点検実施に伴う閉鎖時間が半期で 183 時間 30 分を上回らないこと。	上半期	142 時間 30 分	適
		下半期	143 時間 45 分	
検査機器校正	校正実施に伴う閉鎖時間が年間 169 時間 51 分を上回らないこと。	年間	127 時間 25 分	適
重量計定期検査	定期検査に伴う閉鎖時間が 26 年度にあっては年間 0 分、27 年度にあっては年間 2 時間 45 分を上回らないこと。(注)	平成 26 年度	00 時間 00 分	適

注) 重量計の定期検査は 2 年に 1 度であり、各年における検査基数が異なるため、指標設定が相違している。

<北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

Ⅲ. 仕様書に記載の業務内容の達成状況及び評価

<中部検査部>

各業務	確認事項	評価
検査機器定期点検	全ての対象機器について必要な点検が実施されているか。	適 (業務報告書の内容、業務監督責任者の所見等から、确实かつ適切に実施されたと認められる。)
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。	
検査機器校正	登録校正実施機関による校正を受けているか。	
	全ての点検対象機器について前回の校正の日から概ね1年以内に校正が実施されているか。	
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。	
重量計定期検査	指定定期検査機関等による定期検査を受けているか。	
	全ての点検対象機器について前回の定期検査の日から2年以内に定期検査が実施されているか。	
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。	

<北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

Ⅳ. 実施経費の状況及び評価

<中部検査部>

1. 平成26年度と市場化テスト以前で業務仕様が同等な平成24年度の実施経費

平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日 47,080千円(税抜)

(内訳:平成26年度 23,217千円、平成27年度 23,863千円)

平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日 25,018千円(税抜)

2. 平成26年度の実施経費と平成24年度の実施経費を比較した経費削減効果

(注)重量計の定期検査が2年に1度であり、検査基数が奇数年度(9基)と偶数年度(4基)で相違するため、直近の検査基数が同程度の平成24年度と比較

23,217千円 - 25,018千円 = -1,801千円 削減率 ▲7.20%

3. 評価

市場化テスト以前の平成 24 年度と直近の検査基数が同程度の平成 26 年度を比較して 1,801 千円（7.20%）の経費削減効果があったものと評価できる。

<北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

V. 競争状況及び評価

<中部検査部>

1. 本業務の応札状況

総合評価方式で入札を実施したところ、入札参加者は 2 者であり、提出された企画書について審査した結果、入札参加資格及び必須審査項目を満たしていたため、最も総合評価点の高い者を落札者とした。

2. 平成 25 年度の契約状況

検査機器定期点検	5 者	（3 者：一般競争入札、2 者：不落随契）
検査機器校正	1 者	（一般競争入札）
重量計定期検査	1 者	（随意契約）

3. 評価

従来随意契約であったものを含め民間競争入札に移行できたこと、競争性が確保されたことは評価できる。

<北陸信越検査部>

1. 本業務の応札状況（経緯）

平成 25 年 12 月 25 日	入札公告
平成 26 年 2 月 3 日	入札参加意思表示期限（2 者が参加意思表示）
平成 26 年 2 月 13 日	入札書等の提出期限（2 者が入札書等を提出）
平成 26 年 2 月 27 日	開札（2 者の参加があり、いずれも予定価格を上回ったため不落とした。）
平成 26 年 4 月 17 日	入札公告（再度公告）
平成 26 年 5 月 21 日	入札参加意思表示期限（1 者が参加意思表示）
平成 26 年 6 月 6 日	入札書等の提出期限（1 者が入札書等を提出）
平成 26 年 6 月 17 日	開札（1 者の参加があり、予定価格を上回ったため不落とした。）

2. 評価

入札参加者は 2 者あったが予定価格を下回らなかったため不落となった。入札参加者に入札価格の考え方について聞き取り調査を行ったところ、北陸信越エリアに営業所がない等のた

め、予定価格との乖離があるとのことであった。このため、予定価格算出方法の再考も視野に入れ検討すべきであるが、市場化テストの意義を失いかねないため慎重な検討を要する。また、入札参加者の新規参入を促す情報提供等の努力を行う必要がある。

VI. 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

<中部検査部>

重量計定期点検の実施について、検査時間外（昼休み等）に実施されており可能な限り検査コースの閉鎖時間を少なくする努力が見られた。

<北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

VII. 全体的な評価

中部検査部における市場化テストについては、導入する前の業務仕様が同等な平成 24 年度と比較すると経費が約 7%削減され、良好な実施状況にあることが認められたところではあるが、実施状況についての外部有識者等によるチェック体制が未定であることから、引き続き次期事業においても、現行の市場化テストに沿って実施することとしたい。また、北陸信越検査部の市場化テストについては、入札参加者が 2 者あったが予定価格を下回らなかったため不落となったことから、今後、入札参加者の新規参入を促す情報提供等の努力を行い、次期事業において市場化テストを実施することとしたい。